

生きる

もう少し ここにいたい  
もう少し 生きていたい

夜は お月様が見てくれている  
ひとりぼっちでも 海と山が お友達  
心は空っぽじゃない

ある夏の日

潮風と波音が戯れる中で  
「生」と浜辺に書いた

亡き弟への 一文字手紙